

## 第22回定期長崎地区本部大会



【来年の統一地方選推薦決定も報告された（九州労働金庫長崎支店会議室）】

魅力ある  
国労運動を!!

第22回定期長崎地区本部大会が11月6日、九州労働金庫長崎支店4階会議室で開催された。大会構成員の他、来賓、傍聴者など約40人が参加し、2017年度経過報告、2018年度運動方針、決算と予算が採択された。

大会は、神近副委員長の開会挨拶で始まり、宇都宮執行委員が資格審査を行い大会の成立を宣言した。その後、木寺代議員を議長に選出し議事を進行した。



【議長の木寺代議員】

豊田長崎地区本部委員長は、政治的な課題、JR九州の安全安定輸送・労働条件改善の取り組み、組織強

化・拡大の取り組みに触れ、長崎バスキュンなどの闘いに学び国労運動の原点でもある職場運動と分会活動を再構築し魅力ある国労運動を展開しようと呼び掛けた。



【豊田長崎地区本部委員長】

岩元九州本部書記長は、事業の多角化など株式上場から2年が経ったJR九州の現状、ダイヤ改正での列車本数の削減・減便、特急4両ワンマン列車やローカル線の通学列車の問題などを報告し、これからも職場の中心に座って職場から運動を作っていくと分会活動の活性化を呼び掛けた。



【岩元九州本部書記長】

討論では、8両編成の特急みどり号の労働条件や60歳以降の労働条件について（北村）、超勤ワースト3の職場の実態（山口）、前泊行路

や再度乗務行路など疲れが取れない乗務の実態（秀島）などが発言された。最後に、地域共闘との連帯を強化し組織一丸となって闘い抜く事を表明する大会宣言を採択した。

## いのち・愛・人権 2018ながさき市民のつどい



【11月10日、長崎駅前広場で開催された人権フェスタ（豊田、米満）】